

提案者（所属）MP 実習 1 班 /（氏名）瀬島由実加

プロジェクト名称	常磐線すくすくエリア計画-放課後子ども教室の設置（重点整備計画）
現状(問題点,背景)	土浦市内を走る常磐線は、2015 年春に東京駅まで乗り入れることが決定している。これにより、常磐線沿線はよりベッドタウンとしての人気が高まるエリアとなることが予想される。
目的・趣旨	常磐線沿線をベッドタウンとしてより魅力アップさせるために、「子育て」をキーワードとして特色付けた。そこで、地域ぐるみで子どもを教育するための仕組みを荒川沖・神立エリアに導入する。沿線の人口を増加させることを最終目的とする。
内容	放課後こども教室とは、文部科学省が平成 19 年度より取り組んでいる事業。小学校の余裕教室等を活用して、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援するというもの。具体的な活動内容は地域によって様々で、各地域で決める。また事業の主な実施主体は市町村となっており、国は各地域での取り組みに対し支援（予算補助）を行う。この放課後子ども教室を五中地区のすべての小学校で実施する。地元住民のボランティアを募り、勉強を始めさまざまなことを子どもたちに教える場、地域住民と交流する場とする。 神立に関しては、神立商工振興会 土浦市放課後子ども教室推進事業実施要綱に則り、実施日は週 2 回、実施日の放課後～午後 5 時までを実施時間とする。
将来目標	子育てに適したエリアであることの認知度を高め、人口の増加を目標とする。
期間	平成 26 年 4 月～9 月：プラン詳細検討 10 月～12 月：設営作業 平成 27 年 1 月～3 月：試験的に営業 4 月～：正式に営業開始
場所	荒川沖・神立エリアの各小学校施設
対象者	小学生
運営主体	土浦市教育委員会
運営方法	適当な子育て支援団体に運営を委託する